

第27回新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事要旨

日時:令和2年8月28日(金) 午前10時 ~ 午前10時30分

場所:庁議室

1 開 会

2 議 題

(1)所沢市の感染者情報、PCR検査センター、発熱外来について

◎健康推進部長

- ・陽性者数は8月26日時点で299名。8月中の陽性者数は110名。
8月には所沢第一病院のクラスターが57名発生、数を押し上げた要因となっている。
- ・PCR検査センターでの検査数は8月13日時点169件で、そのうち7件が陽性。

(2)所沢市が関係するイベント等についての考え方(令和2年9月1日~9月30日まで)

◎健康推進部長

- ・国と県がイベント等について、9月1日以降も制限を継続する方針を示したことから、所沢市も県に準じて9月30日まで継続する。県が示す「埼玉県におけるイベントの取扱いについて」を踏まえ、「留意事項」についても十分に配慮して主催者等が開催の可否を判断する。
- ・県のイベントについての考え方「留意事項」の記述の中に、接触確認アプリ「COCOA」や、「埼玉県LINEコロナお知らせシステム」の活用を参加者・観客へ促すことが追加された。所沢市もこれに準じて活用を促していく。

(3)所沢市長からのメッセージwithコロナに局面が移ってーについて

◎健康推進部長

- ・今回は2ページとなる。公表は決裁が下り次第(早ければ本日中)行う。
- ・患者数等は、8月28日夕方に保健所から提供される最新の数値に差し替える。

(4)濃厚接触者を出さないために職場でできること

◎健康推進部長

- ・保健所が濃厚接触者を判断する基準として、マスクを正しく着用することが重要。
- ・パーテーションやビニールシートの有無は効果はあるものの、保健所の基準では濃厚接触者か否かの判断材料にはならない。

◎総務部長

コロナウイルスの感染症対策について、改めてこれまで周知してきた対応の仕方を分かり易く表記したマニュアルの策定を健康推進部と検討のうえ進めている。その中には情勢にあわせた新しい取り扱いも含まれるものになる。できるだけ早くお知らせする予定である。

(5)保健センター防災訓練における感染管理認定看護師坂木氏による講演について

◎健康推進部長

感染管理認定看護師坂木氏の講演を受講した。参考となるポイントは以下のとおり。

- ・埼玉県においては、現場と県民の感染予防対策の努力が数値から見て取れる。
- ・汚染されたものに触れた手で鼻や目を触ることで感染するリスクが高くなることから、手洗い・手指消毒するまで顔を触らないことが大事。
- ・短時間でもマスクを着用せずに至近距離で接していると感染リスクは増大
- ・家庭内の接触は発症のリスク因子でどの年齢層でも起こる。
- ・無症状感染（陽性）者は、同居家族がいた場合、ホテル療養を選択したほうがよい。
自宅待機した場合・・・同居家族は濃厚接触者として24日間の自宅待機が必要。
ホテル療養の場合・・・同居家族は14日間の自宅待機が必要。

◆その他

◎財務部長

当市が新型コロナウイルス感染症対応事業として予算に計上した額は、9月議会分を含めて約42億円である。一方、国から示されている額は第2次配分までで約23億円となっている。

◆次回会議予定

- ・未定

3 閉 会